

あかるいまち 21

No.1592 2023年6月2日
組合員活動推進課 082-532-1264

| | | |
|--------|------|---------|
| | 6月 | 2023年度 |
| 組合員ふやし | 8人 | 216人 |
| 出資金ふやし | 28万円 | 1,697万円 |
| 純増 | △2万円 | △479万円 |

県立広島病院の移転に怒り、不安続出

～広島県健康福祉局との懇談会～

広島県は、国の「高度医療・人材育成拠点基本構想」に基づき、2030年までに、県立広島病院(712床)、JR広島病院(275床)、中電病院(248床)を統廃合し、駅北に1000床程度の新病院を建設する基本構想を発表しております。南区住民にとって、県病院がなくなることはとても不安であり、5月30日、日本共産党の藤井県会議員や南区選出の中原ひろみ市会議員、また当生協の組合員でもある地域住民などが県健康福祉局医療機能強化推進課と懇談しました。



広島県の説明としては、基本構想の目的として、①高度医療の拠点化と若手医師の人材育成②県内中山間地を含む広域医療体制の確立③救急搬送事案の円滑化などを挙げました。一方地域住民の声としては、県病院がなくなることは、地域の患者、住民はとても不安であり、限られたメンバーである地域懇話会だけではなく、もっと広く地域住民の声を聞くべきだ、高度医療も大事だが、通常受診体制が困難になる、結局県全体の病床は200床以上のベッド削減となり、県の医療水準は低下するのではないか、など不安、怒りが出されました。

懇談会を受けて、参加者は、県病院移転については地域住民の声をしっかり聞くこと、現地に地域医療を残すことなどを要望する署名活動を始めることとしました。 記・安徳 剛

活動の輪が広がります 湯来龍頭の滝ウォーク



5月10日(水)、参加者6名で、湯来町の「龍頭の滝」に行ってきました。

当日は5月初旬ながら、「夏日」と呼ぶにふさわしいお天気でしたが、前々日に広島で豪雨が降っていた影響もあり、道中のところどころは増水した川の水の中に埋まっていました。「すべりんさんなよ」と声を掛け合い、また先の岩場から手を引いてもらったり、みんなで助け合いながら、何とか全員で滝までたどり着くことが出来ました。登りは時間がかかった今回のウォークでしたが、降りる時は皆さんすっかり山道に慣れて、あっという間でした。今回始めて参加された方が、解散前に「是非他の活動にも参加したい」と言って下さり、みんなで大喜び。支部の他の班会や支部総会にお誘いしました。

これから班会を通して、組合員の輪を広げていきます。